



令和 7 年 2 月 1 日
目黒区立ひもんや保育園長

年初めに新年お祝い会で職員が演じた「ひょっとこと獅子舞」の演舞を見た 5 歳児クラスの数人の子どもがすぐに獅子舞を作り、その日のうちに「再現をしたい」と企画が始まりました。職員の演舞をよく見ていて瓢箪ののっくりや花吹雪、獅子とのやり取りまで見事に再現されていました。“5 歳児クラスの子どもが獅子舞をやるらしい”と聞きつけた他クラスの子どもも観客で駆けつけてくれてみんなで楽しむことができました。演じた子どもたちも大絶賛されてとても誇らしげでした。この直後、今度は 2、3 歳児クラスの子どもたちも「獅子舞作りたい」と言って空き箱やブロックなどで獅子を作り、園内を練り歩き楽しみました。子どもたちは、すぐに自分も“やりたい”と再現して遊ぶことが大好きです。一つの行事から園全体で楽しさを共感できたことに温かい気持ちになりました。

数日後、不審者の扮装をして人形を抱いた職員が園内に入り、不審者対応の避難訓練を行いました。翌日、3 歳児クラスの子どもが「知らない人ごっこしよう！」と頭から布を巻き人形を抱いて扮装していました。不審者の再現遊びとは驚かされました。“これだから子どもは面白い！”どんなことも遊びに変える天才ぶりを発揮する子どもたちの姿を大切に見守っていきたいと思います。



2月・3月の行事

2月 節分

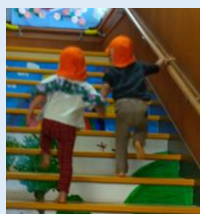
4歳児クラス懇談会
0、1歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会
5歳児小学校交流
身体計測、避難訓練

3月 卒園式

幼児お別れ遠足（3・4・5歳児）
5歳児クラスお別れ遠足
クラス移動日
お別れ会
身体計測、避難訓練

ひとこま…

寒い日も戸外遊びを楽しんでいる子どもたちです。「ただいま」と元気に帰ってくる子どもたちに「寒かったね」と手を温めるようにと、タライにお湯を用意してあげました。手をそっと入れて「あったかい」「お風呂みたいね」と嬉しそうです。時には友達が部屋に戻っても「まだまだ」と言う子もいます。どうするかなと見守っていると「そろそろあがる?」「もうちょっと」「もうご飯の時間じゃない?」等と会話した後「帰ろっか」とふたりで満足そうに帰っていきま



2人の背中を見送りながら成長を感じました。

～絵本コーナーの紹介～

好きな絵本を通し、親子で会話を楽しみながら素敵なひとときを過ごせるきっかけになるよう選本し貸し出しを行っています。

季節に合った本や
クラスで楽しんでいる本も
取り入れる予定です♪

新しい発見や好きな
本が見つかるかな。



お気軽に絵本を手にとってみてください



～クラスの様子～



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

年長組の獅子舞を見た後「私も作りたい」と言う子がいたので、獅子の材料を用意してクラスでも作ってみることにしました。ティッシュ箱を顔にしてシールの目を貼り付けたり、ブロックで顔を作ったり、ひとりひとり自分の作りたい獅子ができました。顔ができると次は年長組がやっていたように、ままごとの布を被り体を隠し獅子をパクパク動かして友達の頭や手を噛んで楽しんでいます。「がーがー」と声をあげながら事務所や幼児クラスにもお披露目に行って「手出してー」と言いながら手や頭を噛んでまわっていました。

小さなちゅうりっぷ獅子たちも勇ましく練り歩き、楽しむことができました。



こすもす組（4歳児クラス）

砂をふるいにかけ、白砂作りを楽しんでいた子がいました。やわらかくきめ細かい白砂作りは子どもたちの得意な遊びです。あまりにも熱心にやっている姿に友達も加わり、2人であっという間に細かい白砂を作り「この砂はふわふわなんじゃ」と嬉しそうです。その言葉が聞こえたのか横でチョコレートを作っていた別の子が「白砂ください」とやってきました。白砂はチョコレートの上にかける砂糖にするのに丁度良いようです。買い物のようなやりとりを楽しんでいると、泥だんご作りを始めた3歳児の子も「白砂ください」とやってきました。年下の子たちの言葉に照れながらも嬉しそうに渡していました。その日から“白砂工場”が始まりました。工場の横ではキッチンでチョコレート作り、その両脇には疲れたら休むベッド、風呂とトイレ等、子どもたちそれぞれのイメージをつなぎ合わせた町ができあがりました。最初に始めた2人の遊びに興味を持った仲間が加わり、子ども達の発想やアイデアで遊びが広がり楽しんでいます。



ひまわり組（5歳児クラス）

星占いが好きな子から影響を受け“自分の星座は何か？”とクラス全体に興味広がりました。やがて毎日の星座占いをクラスに掲示するようになりました。ある日、星の絵を描き始めた子どもたちが「プラネタリウムをやりたい」と、星座の絵を見ながら描き、千枚通しで一つひとつ丁寧に穴を開け集中して作業しています。出来上がると懐中電灯を照らし「すごい。星が出てきた」と目を輝かせていました。すると偶然、窓から差し込む太陽の光にも照らされ、壁や床にも星が映ったことに気づいた子どもたちは「うわあ。ここに星がでてきた」「〇〇ちゃんの洋服が星模様になってる」と感激しています。興奮冷めやらぬ子どもたちは「もっと作ろう」「猫型星作ろう」「恐竜星つくろう」と黙々と取り組んでいました。その後、他クラスにも見せたいとチケットを作り全クラスの子どもを招待しました。子どもたちのアイディアが形となり、身近な科学に触れ、面白さを体験しています。



怖くないよ。
きれいだよ。